

ユニファイヤーガードⅡ

耐火スクリーン 危害防止装置付

大空間区画用

最大幅面積区画 25m、縦穴区画 15m
大空間を活かせる設計が可能。

耐火スクリーンだから実現した

高い空間自由度と安全性。

耐火スクリーンとは、シリカクロスを使用した防火・防煙シートシャッター。

「ユニファイヤーガードⅡ」は、従来の防火シャッターと防火戸を一体化した新しい防火区画システムを形成する高機能な耐火スクリーンです。

最大幅面積区画 25m、縦穴区画 15m という

大空間の区画形成を可能にしました。

中間柱や避難用併設扉がいらない特定防火設備なので
大空間における設計デザインをもっと自由に、
もっと大胆にご提案いただけます。

ここがポイント！
安全性
押すだけの
シンプルな避難口

Space Flexibility

空間 自由度

設計時に制約が少なく、
独創的な空間づくりを
可能にします。

1 中間柱なしで最大幅が面積区画 25m、縦穴区画 15m までのスクリーンが設置でき、意匠性の高い空間をつくる事が可能。収納スペースがコンパクトにできるため、空間のデザインにほとんど影響しない。

2 ウォークスルー（避難口）が組み込まれているので、スチールシャッターのような避難用併設扉は不要。



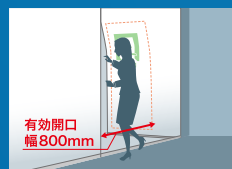
大空間を活かした設計が可能

High Safety

安全性

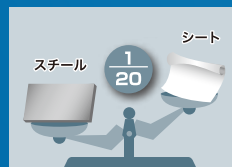
事故や災害時における
“人への安全性”に
徹底的にこだわりました。

1 避難しやすい有効開口幅 800mm のウォークスルー（避難口）。開口幅により、任意の位置に最大2箇所まで設置可能。押すだけのシンプルな構造で、学校や病院施設などにも最適。



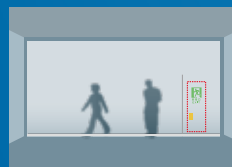
押すだけのシンプルな構造

2 スチールシャッターに比べ、大変軽量（1/20程度）で柔軟性があり、危険性が軽減。危害防止装置を標準装備しており、閉鎖中のはさまれ事故を防止。



スチールシャッターに比べ軽量

3 光透過率が高く、スクリーンの向こう側の状況がある程度把握できる。静かな降下音で恐怖感が少ない。



向こう側の状況が把握可能



耐火スクリーン ユニファイヤーガードⅡ

ここがポイント！
空間自由度

最大幅 **25m**
容易に大空間の
区画形成が可能

ここがポイント！
安全性

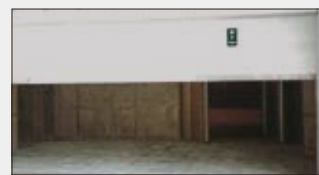
光透過率が高く、
パニック
防止に有効

作動順序

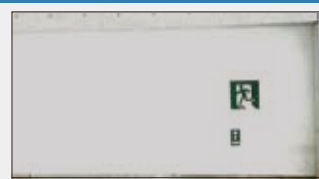
開状態



下降途中

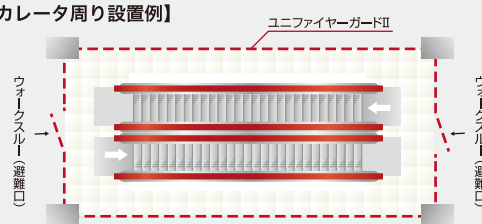


閉状態

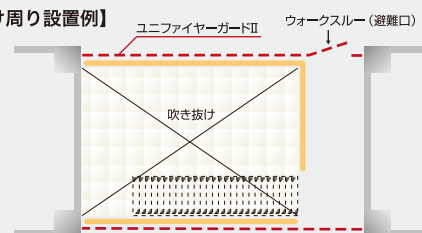


設置例

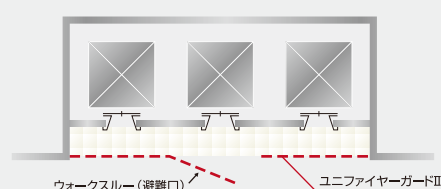
【エスカレータ周り設置例】



【吹き抜け周り設置例】



【エレベータ前設置例】



高性能なシリカクロスを採用！

シート部分は、特殊なガラス長繊維でできたシリカクロスを膜材に使用。スチールシャッターと同等以上の優れた耐火性能を有し、スクリーン裏面の表面温度はスチールシャッターより200℃※以上低くすることが可能。さらに気密性が高く、防煙シャッターと同等以上の遮煙性能があります。また、軽量で柔軟性に優れており、扱いやすい素材です。

※当社調べ



シリカクロス



1,000℃の熱に約2時間耐えられます

認定詳細・装置概要

【大臣認定番号一覧】

※建築基準法施行令改正（平成17年12月1日）に伴う危害防止措置義務に対処しています。

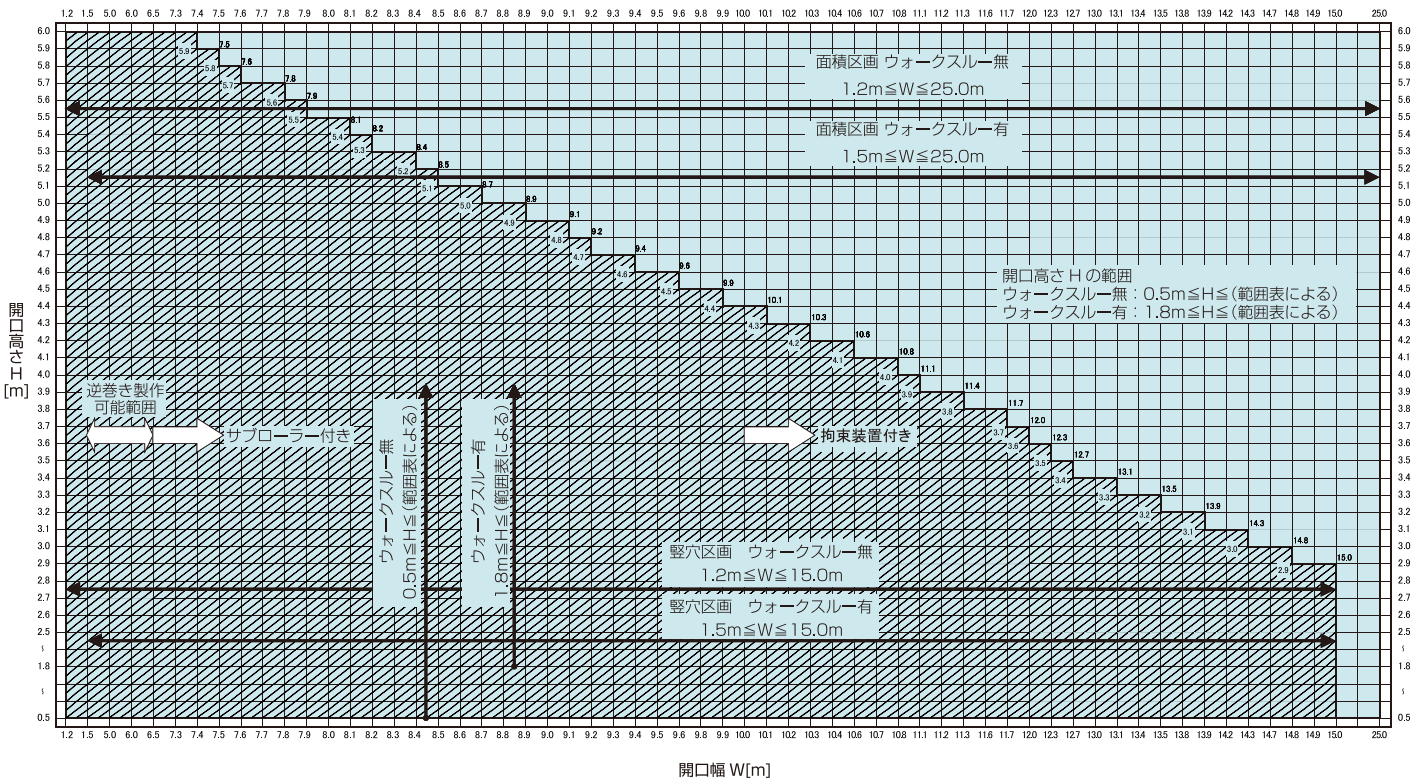
認定番号	認定区分	関係法令
EA-0330(EA-0338)	特定防火設備	建築基準法施行令第112条第1項
CAT-0609(CAT-0634)	防火設備の作動性能等(面積区画)	建築基準法施行令第112条第14項第一号
CAS-0611(CAS-0636)	遮煙性能を有する防火設備の作動性能等(竪穴区画)	建築基準法施行令第112条第14項第二号

※ウォークスルー2箇所仕様の場合は（ ）内の認定番号となります。

設計範囲

【設計範囲表】

面積区画の適応範囲 竪穴区画の適応範囲



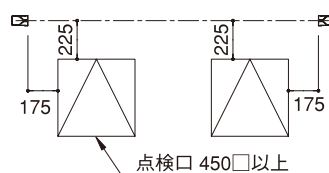
仕様

◆シート	両面樹脂コーティングシリカクロス 厚さ0.7mm
◆ガードレール・まぐさ・座板・化粧カバー	材質：ステンレス
◆操作方式	自動閉鎖：連動制御盤等からの信号による自重降下
◆電源	手動閉鎖：電気式(押しボタン式) 避難脱出：押し開きくぐり戸(ウォークスルー) 電動式開閉機：単相100V 125～250W 閉鎖信号：DC24V 500mA 連動中継器：単相100V 250mA ※連動中継器に内蔵されている電池は4～5年毎に交換が必要です。

W<6500



W ≤ 2,800 : 駆動側 1 箇所
W > 2,800 : 左右 2 箇所以上

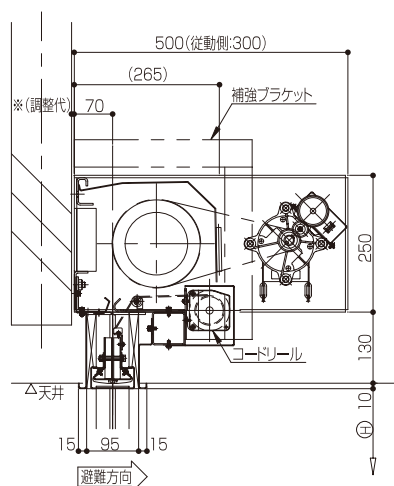


●寸法表

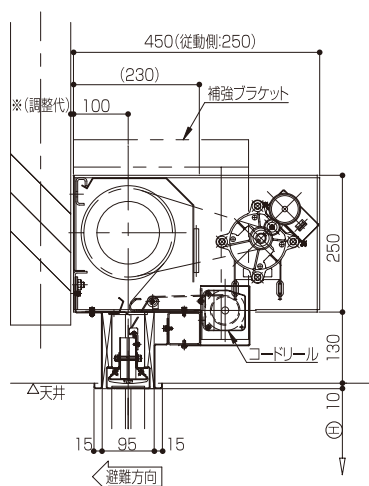
[単位mm]

開口幅 W	袖懷 A	レール幅 D	開閉機容量 (W)
W≦5,000	125	94	125
5,000<W≦6,000	136	105	
6,000<W<6,500	151	120	
6,500≦W≦8,000			
8,000<W≦9,500	161	130	250
9,500<W≦10,000	171		
10,000<W≦12,000	176	135	
12,000<W≦25,000	211	170	

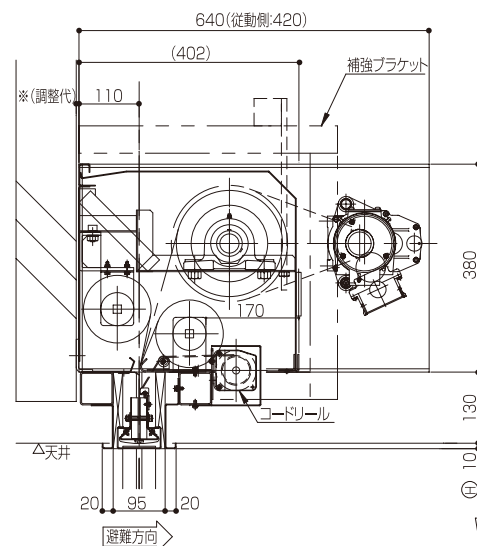
駆動側ブラケット詳細図



正巻き仕様 (W < 6500)

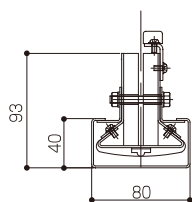


逆巻き仕様 (W < 6500)



サブローラー付き (W ≥ 6500)

座板詳細



注意

- ・ウォークスルーは1台につき2箇所まで設置可能です。
- ・ウォークスルーの回転半径内に障害物のなきよう設計してください。
- ・W > 15,000mmの縦穴区画では使用できません。
- ・W ≥ 10,000mm (ウォークスルー2箇所の場合は9,000mm)は座板拘束装置が必要になります。
(座板拘束装置=圧力および熱による座板の変形を抑える装置)
- ・サブローラー付 (W ≥ 6,500mm)の場合、逆巻き仕様はできません。
- ・サブローラーの取付けはWa、Wb寸法の範囲となります。
- ・補強ブラケット(□50×50×2.3)は、サブローラー部分に1,800mmピッチで取付が必要です。
その他の部分への取り付けは、2,500mm以下のピッチとなる様に割付けてください。
- ・コードリール、連動中継器は開閉機側に配置してください。
- ・シートにしわが発生することがありますが、性能上問題ありません。

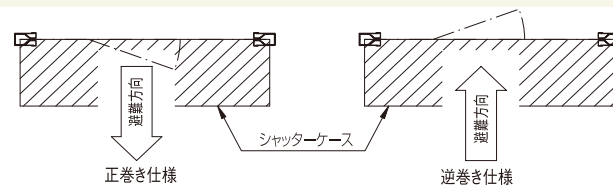
正巻き・逆巻きについて

避難方向とシャッターケースの位置でシートの巻き方が異なります。

正巻き仕様：シャッターケースと避難方向が同方向
逆巻き仕様：シャッターケースと避難方向が逆方向

※正巻き・逆巻きでブラケット寸法が異なります。

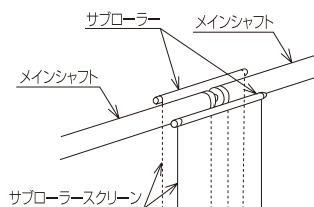
※サブローラー付き (W ≥ 6.5m) の逆巻き仕様は製作できません。



サブローラーについて

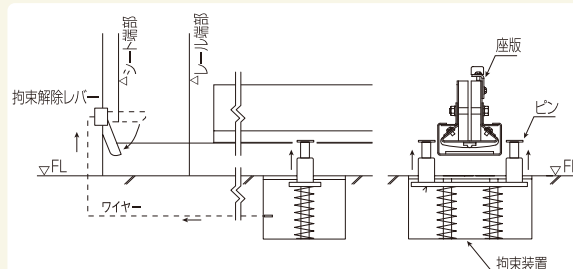
開口幅W ≥ 6.5mの場合はシャフトを連結します。サブローラーはメインシャフトとは別のシャフトを使用して連結部におけるシートの隙間をカバーするシステムです。

※サブローラーの有無でブラケット寸法が異なります。

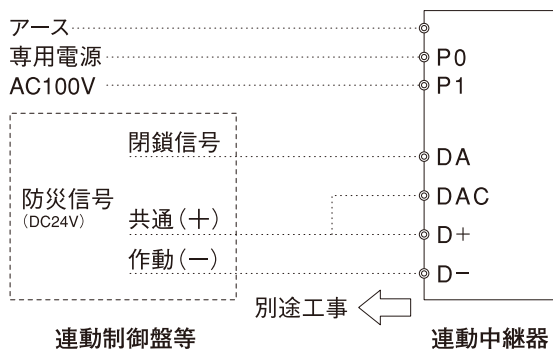


座板拘束装置について

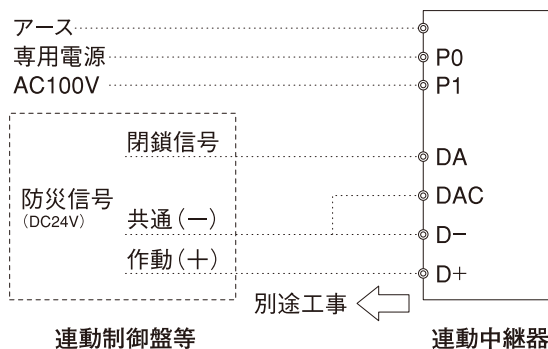
開口幅W ≥ 10m (ウォークスルーを2箇所設置する場合は9m)の場合に取り付けます。圧力差および熱による座板の変形を抑制する装置です。シート端部の芯材が、レール内の拘束解除レバーを押し倒すことにより、拘束装置からピンが突出し座板を拘束します。



防災信号の共通が(+)の場合

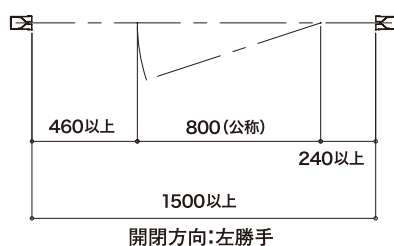
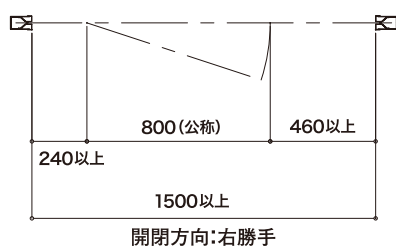


防災信号の共通が(-)の場合

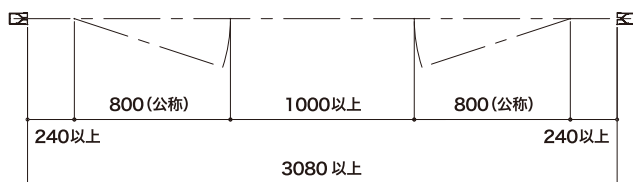
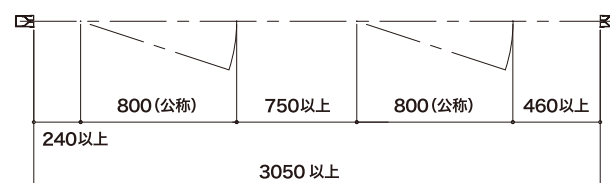
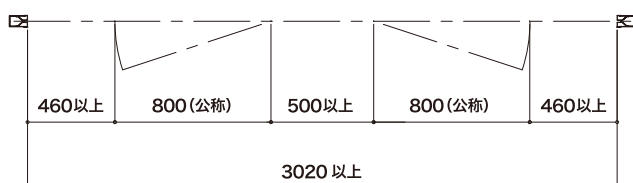


注記 1. 防災信号DC24V結線時の極性があります。 2. 閉鎖信号は、スクリーンが全閉時に出力します。

ウォークスルー取付可能位置



＜ウォークスルー 2 箇所＞ ※異方向へは避難できません。



■ 設置上の注意事項

- (1) 常時開放式の防火設備として設計されているので、日常開閉する用途には使用できません。
- (2) ウォークスルー（避難口）付きスクリーンの場合は、建築基準法施行令第122条に規定された特別避難階段及び避難階段ならびに、それらの階段室の前室における避難経路上には原則として設置できません。
- (3) (2)に記述した以外の直通階段及びその前室の内、建築基準法別表第1(1)項に定められている特殊建築物（劇場・映画館・演芸場・観覧場・公会堂・集会場・その他これに類するもの）、及び(4)項に定められている特殊建築物（百貨店・マーケット・展示場・キャバレー・カフェ・ナイトクラブ・バー・ダンスホール・遊技場、その他これに類するもの）の直通階段及びその前室における避難経路上及び水平避難が行われる区画には原則として設置できません。
- (4) スクリーン閉鎖時にスクリーン内外の圧力差が30Pa以上となる場所には原則として設置できません。
- (5) ガス系消火設備が設置されている空間には原則として設置できません。
- (6) 強い風圧の影響を直接受ける場所には原則として設置できません。
- (7) 倉庫、物販店舗の売場等で荷物、家具、棚等の転倒により耐火スクリーンを破損するおそれがある場所には原則として設置できません。
- (8) 天井から吊り下げられている質量のある空調機、照明器具、音響設備の近傍などのように火災時に落下して耐火スクリーンを破損するおそれのある場所には原則として設置できません。
- (9) 厨房等のように多量の油煙、水蒸気等が発生する場所には原則として設置できません。

※設置判断に迷う場合は、建築主事に相談していただくことをおすすめします。

メンテナンス（定期点検）契約のおすすめ

適切な定期点検をしない場合には、次のような危険が発生する恐れがあります。

- 部品の劣化、変形、摩耗により万一、耐火スクリーンが落下した場合には、生命にかかわる人身事故の恐れがあります。
- 火災時に自動的に閉鎖せず延焼が拡大すると、大切な財産が失われ、最悪の場合には煙や炎で人命が危険にさらされます。
- 故障の場合修理費用が増大し、修理期間が長引く恐れがあります。
- 民法第717条において、建物の所有者、占有者は、建物の維持管理に瑕疵（欠陥）があって、これにより他人に損害を与えると、責任を負わなければならないとされています。
- 建築基準法、消防法において、防火・防煙シャッター等は点検が義務付けられています。建物にこられるお客様、従業員、関係ご家族全ての人々の尊い生命を火災から守るため、建物の用途規模等により管理（点検）が求められています。

※耐火スクリーンは、延焼を防ぐ防火性能と、有害な煙の流出を一定以下に抑える遮煙性能を備えています。

※耐火スクリーンの機能・性能をより確実に発揮させるためには、日常の正しい取扱いや自主点検およびメーカー等による定期点検が必要です。

※定期点検には専門知識と高度な技術が必要です。故障や破損、不慮の事故を防ぐため、定期点検契約の締結をお願いします。

製品保証について

■保証期間

保証期間は〔お引渡し日〕より1年間です。

■保証内容

1. 取扱説明書、その他注意事項に従った正常な使用状況下において、保証期間内に発生した設計、製作、施工（弊社施工の場合に限る）上に起因した不具合は、下記に例示する適用除外事項を除き、無償で調整、修理または部品の交換をいたします。

なお、故障、損壊の内容により多少外観変更を伴うことがありますのでご了承願います。

2. 故障中、あるいは修理期間中の運転休止により発生した損害は免責とさせていただきます。

■保証を適用しない事項

保証期間内においても、次の場合は免責とさせていただきます。この場合、修理、部品の交換等は有償で対応させていただきます。

1. 天災、その他の不可抗力（火災、地震、水害、台風、地盤沈下、盗難等）による故障・損壊・事故等
2. 自然現象や使用環境に起因する故障・損壊・事故等
（結露、凍結、異常高温、振動、共鳴音、煙害、塩害、排気ガス害、粉塵・砂塵害、小動物の害等）
3. 弊社の手配によらない他社の加工、組立、施工、管理、修理、改造、メンテナンス等に起因する故障・損壊・事故（他社施工分からの波及不具合含む）
4. 弊社の関知しない改造、修理等による故障・損壊・事故等
5. 建築躯体の変形など、弊社製品以外の不具合に起因する故障・損壊・事故等
6. 実用化されている科学や技術では予測、予防が困難な現象および、それにより生じた不具合
7. カタログ等に記載された商品仕様の限度を超えて使用したことによる故障・損壊・事故等
8. 通常で発生すると思われる経年劣化での商品の消耗、劣化、変色等
9. 機能上支障の無い音、振動、臭い、色合等の感覚的現象
10. 注意書きを無視した行為による故障・損壊・事故等
11. 本来の使用目的以外の用途に使用したり異なる使用方法を行った場合の故障・損壊・事故等
12. 正常な取り扱い手順を踏まない誤操作による故障・損壊・事故等
13. 法的な正規の手続きを踏まないで設置された設備
14. 当該設備に関連して発生した二次災害及び補償費用（間接災害、休業補償等）
15. 次項〔お客様の遵守事項〕を励行しないことによる故障・損壊・事故等

■お客様の遵守事項

常に最良の状態で安全にご使用いただき、かつ十分な保証を受けられるよう、次の事項を励行してください。

1. 取扱説明書に従って正しくお取扱ください。
2. 定期保守、点検を必ず実施し、記録を保管してください。
3. 万一トラブルが発生した時は、最寄の弊社営業所、事業所へご連絡ください。また、原因究明と迅速な復旧をはかるため、極力現場保全と状況記録をされるようお願いいたします。

■その他

故障、損壊の原因が明確でない場合は、お客様と弊社の双方にて協議を行うものとさせていただきます。

保証期間経過後に発生した故障、不具合等の調整、修理、部品の交換は有償とさせていただきます。



本社・西部営業所	〒611-8555	京都府宇治市宇治戸ノ内5	TEL 0774-25-2113	FAX 0774-25-2354
中部営業所	〒444-8511	愛知県岡崎市日名北町4-1	TEL 0564-22-8468	FAX 0564-22-1721
東京営業所	〒103-8321	東京都中央区日本橋室町3-4-4 JPビル	TEL 03-3246-7553	FAX 03-3246-7516
ホームページ			http://www.unitika.co.jp/upec/	

※改良のため予告なく仕様を変更することがあります。また、製品とカタログの色は多少異なる場合があります。